

『歯を守れ！予防歯科に命を懸けた男』を読んで

一般的に偉人の書籍は多くあるが、一人の歯科医師を Pick Up したものは、日本初の試みではないでしょうか？

この本が発売されると聞いて、どんな内容な書籍なのか大変楽しみにしてました。早速、購入後食い入るように読まさせて頂きました。

今まで、若手歯科医師のための OP セミナーからはじまりマルメ研修まで数々のセミナーに参加させて頂きました。OP 医院としてやっていくのに必要な事がすべて網羅されており、歯科関係者すべてが読むべき教科書のように感じました。そのため当院では、すべてのスタッフに読むよう指示しました。

本書のなかで、『院長が一番のひらで小間使い』との所は、普通の考えの人では、熊谷先生のように地位や名声もあると一匹狼で天狗になってもおかしくないのに、そう思えるのは中々出来る事じゃないと思います。しかし、その考えがスタッフ、患者、OP 医院の先生方がついて行っている秘訣にも感じました。

真の患者利益を追求するため日々、患者教育（歯科医療の本質を伝えるため）の種をまいておりますが、まだまだ開院して3年半のため当初は多くみられましたが、患者さんの反発は徐々に減少してきたようにも見られます。当初は拒絶した方が MTM の必要性を理解し少しずつ戻ってきているのを実感するたび、伝えた事が実になってきており大変嬉しく思います。

これから、様々な壁にぶつかるとおもいますが、熊谷先生のように信念を貫きとおし、挑戦していきます。

今現在、新たな取り組みが開始されましたが、OP 医院として置いてかれないよう、日々精進してまいりたいです。

いまえだ歯科 今枝 常晃